

# カジノ誘致は中止し 物価高から市民守れ

## 日本共産党大阪市議団が予算要望

日本共産党大阪市議団  
は2025年12月19日、  
2026年度予算編成と  
当面の施策に関する要望  
書を横山英幸市長に提出  
し、阿形公基財政局長ら  
と懇談しました。

要望書は12分野429  
項目からなっています。  
具体的には▽「3度目の  
万博を市民の立場から真  
剣に検証する▽賭博であ  
るカジノ誘致は中止し、  
「夢洲まちづくり構想」  
ジョン」は撤回し、「大  
阪副首都合同庁舎」の整  
予算を大幅に増額し、南

備検討は拒否する▽夢洲  
万博を市民の立場から真  
剣に検証する▽賭博であ  
るカジノ誘致は中止し、  
「夢洲まちづくり構想」  
ジョン」は撤回し、「大  
阪副首都合同庁舎」の整  
予算を大幅に増額し、南

要望書を提出し阿形財  
政局長(手前)と懇談す  
る(左から)山中、井上  
の両氏=2025年12  
月19日、大阪市役所内

阿形局長は「生活に密  
着した要望であり、市長  
にもしつかり伝える」と  
応じました。

海トラフ巨大地震等に対する防災対策を拡充する▽一般会計からの繰り入れで、全国一高い介護保険料を引き下げる▽府に国民健康保険の統一保険料の押し付けをやめるよう要請し、一般会計からの繰り入れを継続する――などを求めています。中山智子団長は、物価高で市民生活や、医療機関も危機的な状況で、「地域の力も弱まっている中、公が役割を發揮する時だ」と力説。加齢性難聴に対する補聴器購入補助制度の改善など、命と暮らしを守る市政運営が必要だと強調。井上浩議員は、「暮らしの厳しさが増す中、上下水道料金の減免延長など、市として切れ目のない、きめ細かい対応が必要」と述べました。